

令和5年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・グループでの話し合い活動や課題解決学習を実践し、互いに支え合い生徒主体的な学びを実践することができた。
- ・ICT 機器を動画視聴やデータの確認等、様々な場面で活用することにより、生徒が視覚的にも捉えられる授業を展開することで、深い理解につなげることができた。

(2) 課題

- ・日常生活の中にある問題を把握し、授業で得た知識等を自身の生活上の課題に生かす意義や、生かしていこうとする意識が全体的に低い。課題の設定例を提示したり、課題を設定する時間を多く確保することにより、生活を改善しようとする力を育む力を身に付けることが必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう姿勢
実演と実習を繰り返し行い、知識や技能をどのように活用するべきかを考えさせる。	社会の中で活用されている技術について具体例や調べ学習を実施する中で、課題を設定させ、解決策を考える。	人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題解決をしようとする意識を高めていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう姿勢
生徒の技術習得の違いに応じて、指導方法や内容を工夫し、ものづくりの概念等を理解させ、技能の習得を図る。	学習の振り返りレポート等を活用して、生活をより良くしていくための工夫や解決策を考えさせ、表現する力を身に付けさせる。	生徒が興味をもち主体的に学習に取り組める課題の設定を行い、課題への振り返りや工夫する視点などをもたせ、意欲を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう姿勢
課題解決型の学習を多く取り入れて、基礎的、基本的な知識やそれらに係る技能の定着を図る。	事前課題や振り返り課題を活用して、自らの考えを明確にした作品づくりに取り組みせ、表現する力の育成と課題を解決する力の充実を図る。	より良い生活の実現に向けて、生活課題と目標を個人で設定し、生活を創造したり実践したりしようとする態度を養う。